



さくら日和 (校長室より)

令和6年12月23日発行

吉野さくら学園 No.20

校長 山田 真路

12月17日は、吉野さくら学園の創立記念日でした。本校は、創立4年目を迎えます。

本日、12月23日月曜日、令和6年度第2学期の終業式を迎えました。77日間、保護者の皆さま、地域の皆さま、関係者の方々には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

今年度は、少しでも暑さ対策を図ろうと、体育大会を10月初旬に設定しました。体育大会の練習時期を例年より少し遅らせて取り組んだところ、9月の保健室来室児童生徒が昨年度より少なくなりました。このことは、時期をずらしたことだけではなく、子どもたちや保護者の皆さま、先生方が普段から暑さ対策の意識を、今まで以上に高く持っていたことでもあると思います。

このようにして臨んだ体育大会。前日夕方遅くまで雨が降っていたので開催できるか危ぶまれましたが、10月5日体育大会当日の朝、水たまりのない運動場を目にしてほっとしました。皆さまのおかげで、いい体育大会になりました。

2学期は、学校行事、学年行事が多い学期です。先生方がつくる学級通信や子どもたちが家でする話、この「さくら日和」等で、日々の内容をお伝えしているのですが、全てをお伝えできている訳ではありません。特に、行事の準備、実施、片付けと一連する活動のなかで動いた感情、身につけた力、変化した周りの景色等は伝えたくてもなかなか伝えられないものです。行事が終わってしばらく経ってから、あれ、何か変わった。変わっている。と変化に気づくことが多いのではないのでしょうか。

変化する、変わるということは、成長するということです。私はこういう人だから、とか、私はこんなことをする人ではないから、など、自分の姿、自分の立ち位置を自分自身で決めてしまい、変わることに躊躇するということはありませんか。私はあります。しかし、変わるということは、成長するということではないのでしょうか。「変わる」という言葉を聞くと躊躇するということはあるとしても、「成長する」という言葉を聞くと、躊躇するということはありませんか。

子どもたちは、日々の生活を通して成長していきます。過度の負担にならないように、寄り添いながら、支えながら、子どもたちが、よりよい成長に向けて確かな一歩を踏み出せるように、皆さまとともに、今後も子どもたちを見守っていきたいと思います。

今年は、秋の時間がたいへん短かったように思います。木々もそれを感じているのか、慌ただしい紅葉だったように思います。今シーズンの冬は、やや寒いようですね。私は、急な寒さに対応できなかったのか喉を痛めてしまい、半袖は11月末をもって終了してしまいました。皆さまは、体調にはくれぐれもお気をつけて、よい年を迎えてください。

生徒会選挙

12月10日火曜日、中学校生徒会選挙がありました。立候補してくれた生徒の皆さん、ありがとうございます。皆さんの姿、想いがうれしいです。

選挙に先立ち、会長候補、役員候補として立候補してくれた生徒の皆さんの演説会が、全校生徒を集めた体育館でありました。応援弁士と立候補者が、体育館の演題にあるマイクの前に立ちます。応援弁士の発言に続いて、立候補者が、どんな学校をつくりたいのかといった熱い想いを発言しました。発言者全員、自分の考えの理由と根拠を明確にした、大変立派な発言でした。

感心したのは、聴いている生徒たちです。演題に立つ生徒に対して身体を正面に向け、顔を上げて聴いているのです。生徒会選挙を自分ごととして捉え、しっかりと自分で判断しようとする強い意志の表れを感じました。うれしいです。

先生方も、いい学校をつくりたいという想いは、生徒の皆さんと一緒にです。意見を交わしながら、ともにいい学校をつくりましょう。

本年度生徒会役員を務めてくれた皆さん。本当にありがとうございました。

児童会あいさつ運動

「さくらまる」というキャラクターを小学生の公募で決め、4月から続けてきた取組である「あいさつ運動」。今年度の児童会の大きな活動です。

「さくらまる」には、あいさつメーターがついており、みんなのあいさつを受け、あいさつの力を得ることによってメーターの数値が上がっていきます。12月12日木曜日。メーターの数値は80にまで上がりました。あと20増えると、満たんの100になります。

あいさつ運動を続ける児童会。その運動を支える皆さん。みんなが同じ目標に向けて、元気なあいさつができる学校にしよう。いい学校を作ろうと取り組む姿はすばらしいですね。